

建設産業委員会会議録

平成 26 年 8 月 18 日 (月)

午前 9 時 30 分 開会

○榊原伸行委員長

只今から建設産業委員会を開会します。

先日暑い中視察おつかれさまでした。と同時に、短い期間でしたが、視察の報告書も提出いただきありがとうございます。今日、まとめていきたいと思います。また、時間があれば分科会を開催し事業評価を行いたいと思います。お手元にみなさんから提出いただいた視察報告書がありますが、これに追加意見などあれば挙げてください。

○小出義一委員

書いた通りです。他の委員の内容についても同様に思う部分が多々ありました。

○沢田清委員

私もいろいろ書きましたが、新美委員の報告書を見ると、要点はこういうことなのだと思います。これについて、みんな補足をしているのではないかな、と感じました。

○新美保博委員

説明した方がいいと思いますので。今回 4 箇所視察をして、4 箇所が 4 箇所なりのことをやっていたと感じました。4 箇所とも半田でできるわけではないですし、時間的な立ち位置もあります。歴史を持っているところもあり、全然違う部分もありました。手段ややり方はいくらでもあると思います。ただここで求めるのがそれなのかなと。委員会としての報告はそういうものではないと思います。

今半田がどういう風に進んでいくのか、という時に、やはり人だと思えます。きっと中には人間関係のどろどろしたものがあつたと思えます。まちを思う気持ちが強かったのだと思います。その大きさは倉敷の大きさ、長浜の大きさ、福山の商店街の大きさ、半田はこの大きさ、その大きさに見合う人間が育たないといけないのかなと思います。長浜の吉井さんはとても上手だと思う。補助金のメニューで動いていたね。

半田市はどうするのかというところを議論すべきだと思う。長浜のように商人になれるのか、倉敷のように職人になれるのか。榊村さんは、観光は考えていないという。それでもまちはできていく。半田市がどういう方向に行くのかという着地点を作っていく方がいいのかなと思います。今このように話していますが、抽象的な話では分からなくなるので、行政と議会と地元が集まって実行委員会として動いているし、そういう会がある訳だから、具体的に提言できることをしていく。今までの議会とは違うかもしれない。それが 1 点突破でもある。末廣亭が 1 点突破でもある。正直言うともう時間がないので、方向としてそういう方向付けをつけていかないといけないという思いです。

○榊原伸行委員長

只今新美委員から具体的なところに取り組んでいかないという意見がありました。視察報告に書いていただいた半田市に活かせる点が、ポイントになってくると思います。1 点突破の話、補助金の話など、委員長なりにまとめてみましたが、先ほどの 1 点突破で成功事例をつくるということを実行委員会で提案し、話し合いの結果、末廣亭の活用方法に話が進むの

か、石畳なのか、電線の地中化なのか、議論によると思います。それから、補助金の活用方法も大事な点です。補助金にも期限などあると思いますので、行政、商工会議所に支援いただきながら具体的に進めていけないかなと思います。

また、みなさんからの意見で市長、商工会議所、議会のバックアップが必要ではないかというのがありました。この辺りも大事な点だと思います。他には吉井さん、榎村先生のように専門家が必要ではないか、という意見もありました。また一番大事だと思うのは、沢田委員の意見にもありました、地元住民の熱意がないといけない、というところだと思います。これらのご意見がポイントになると思いますので、これらを中心にまとめさせていただきます。また新美委員挙げていただいた、商人、職人と書いていただいたところに補足をさせていただきます。これをまとめたものを実行委員会に提出させていただきます。その後できれば9月の定例会の最終日に委員会報告として提言の一部として扱いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

これに関してご意見ありましたらお願いいたします。

○新美保博委員

それを取りまとめたものを実行委員会に出すのですか。

○中川健一副委員長

視察で、こんなことを勉強してきました、と言うことを実行委員会で報告するという事です。なぜかという、前は視察直後でしたので、皆さんの意見をまとめていませんでしたし、榎村先生の1点突破も、榎村先生の勉強会を聞いてからの方がいいだろうということがありました。事前勉強会で建設産業委員会が使用した資料のみを情報提供として渡してあります。それで、視察ではこういうことを学んで、こういう意見を共有したということを報告する趣旨です。

○榎原伸行委員長

暫く休憩します。

休憩 午前9時43分

再開 午前9時52分

○榎原伸行委員長

委員会を再開します。

まちづくり実行委員会へは今日の資料をそのまま提出いたします。もう1点は先ほど新美委員から言われた1点突破のハードとソフト、末廣亭をキーワードにしまとめたものを提出させていただきます。

これでよろしいでしょうか。

【「はい」と呼ぶ声あり】

○榎原伸行委員長

ありがとうございました。報告についてはこれで終わります。

○中川健一副委員長

わからないところがありますので、せつかく部長が2人いますので、お聞きしたいと思います。

補助金のことなどやっているのですが、お盆前にどういう補助金があるか、探しました。結果として経済産業省の補助金の中で、まちづくりのマーケティングをするなら、上限1千万円で100パーセント補助というものがあります。それはマーケティング支払会社に支払うもので、その発注者は市でも、商工会議所でも、商店街組合、まちづくり株式会社でもいいということです。これは3期目の募集で、8月いっぱい締切だそうです。今からできるのかと聞いたら、できます、ということでした。どれくらい集まっているか聞くと、実際のところ3期目は駆け込みも多いから、今から応募していただいてもちょっとそこまでいけるかわからない、2期目だったら結構よかったんですが、と言う話でした。ちなみに締切が終わって、概ね2か月後に結果がでて、その後は1回発注者に建て替えてもらいますが、決裁がでた以降は精査をしますが、建て替えてもらった分は支払います、ということでした。要するに今、我々が取り組んでいることを100パーセント補助してもらえるとということです。

今どういう話をしているかというところと末廣亭をどう使うか、空いている場所をどう使うか。空き店舗をどう使うかという、中心市街地でどうやったらお客さんが来て、お店の有効活用ができるかということ半分以上は議論をしていますが、なぜそういう時に早い段階で、こういう補助金がありますという提案がないのか。もう少し気を利かしているような提案をしていただけるといいと思うのですが。

○榊原市民経済部長

まだ、何をやるかがはっきり決まっていない段階ですので、内容がきまったら、活用できる補助金を探すべきだと思います。確かに事前に可能性がありましたので、探して情報提供することができればよかったとも思います。

○榊原伸行委員長

暫く休憩します。

休憩 午前9時56分

再開 午前10時50分

○榊原伸行委員長

委員会を再開します。

先日、実行委員会でまちづくりのアンケート調査について話があったかと思いますが、一応案文ができましたので、配ります。アンケートについては若干日数が経っていますので、副委員長から経過を説明します。

○中川健一副委員長

今回の案文市役所内部である程度合意ができるものを調整したうえで、提案するよう議会事務局へ指示をしました。私の意見はこの中には入っていません。ですので、どういう意図でこういう内容になっているのか説明をしていただきたいと思います。

○事務局

【資料アンケートと裏面の意図について説明】

○中川健一副委員長

前段の説明をします。なぜまちづくりアンケートをやろうかという話になったかというところ、今後税金を使って政策を提言していくにあたり、建設産業委員会の立場としては地域住民の

声を一旦は拾っておきたいという考えがありまして、竹内さんへアンケートの依頼をしました。みなさんご承知の通り、カクサンさんにしても柴田さんにしても今まで10年間いろいろやっているの、過去のアンケートを使えばいいのではないかと、というご意見でした。しかし、時代は変わっているので、アンケートをとりたいということを議会からお願いして竹内さんにやってもらうという筋の話になっています。市役所が中心になってつくっているというのが現状です。それでこの案文がこれでいいのかどうか、みなさんのご意見をいただくところです。ここで合意が得られれば、まちづくり実行委員会で見てもらってそこで合意が得られればやるということです。

○榊原伸行委員長

暫く休憩します。

休憩 午前 11 時 07 分

再開 午前 11 時 45 分

○榊原伸行委員長

委員会を再開します。まちづくりのアンケートにつきましては先ほどの議論で概ねみなさんにご理解をいただいたと思いますので、詳細につきましては正副委員長、事務局に一任をお願いしたいと思います。

【「はい」と呼ぶ声あり】

○榊原伸行委員長

他に何かありますか。

【発言するものなし】

○榊原伸行委員長

ないようですので、これで建設産業委員会を終了します。

閉会 午前 11 時 46 分